

平成26年8月7日(木) 16:00

沖縄県環境部環境整備課  
一廃棄物班  
TEL:866-2231 FAX:866-2235

## ハイイロゴケグモに係る注意喚起について

沖縄県森林資源研究センター(名護市在)から沖縄県衛生環境研究所へ同定依頼のあったクモについて、ハイイロゴケグモと同定されたことから、注意喚起のために概要を以下のとおりお知らせします。

### 1 概要

平成26年7月25日(金)に森林資源研究センターにおいて捕獲されたクモを衛生環境研究所で同定したところ7月29日(火)に特定外来生物であるハイイロゴケグモと同定された。

このクモは「セアカゴケグモ」の仲間で、毒を持っており、県内では過去に衛生環境研究所において4件の同定事例がある。

また平成7年以降、衛生環境研究所での同定事例以外に離島を含む複数の地域で確認されたとの報告もあり、県内の多くの地域で生息している可能性がある。

ハイイロゴケグモは攻撃性が低く、世界的にも咬傷例の報告は殆どない。

### 2 ハイイロゴケグモについて

亜熱帯地方を原産地とする外来生物である。特徴としては毒を持っているのは雌だけであり、成熟した雌の体長は0.7~1cm。ハイイロゴケグモの色彩は様々で、腹部背面が真っ黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど異変が多い。腹面に赤色の斑紋をもつのが特徴。

○咬まれた時の症状:局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張。

通常は、数時間から数日で症状は軽減するが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することもある。

○ゴケグモの仲間は攻撃性は無いが、触れると咬まれることがある。

沖縄県においては、平成7年に那覇新港、那覇空港で初めて確認された。

○ゴケグモが好きなのは、日当たりがよく、人工物の適当な隙間に巣を作る。排水溝の側面やふた(グレーチング)の裏、フェンスの隙間、ベンチの裏ブロックの隙間等

### 3 対処方法

○もし見つけたら素手や薄手の手袋でつかまない! さわらない!

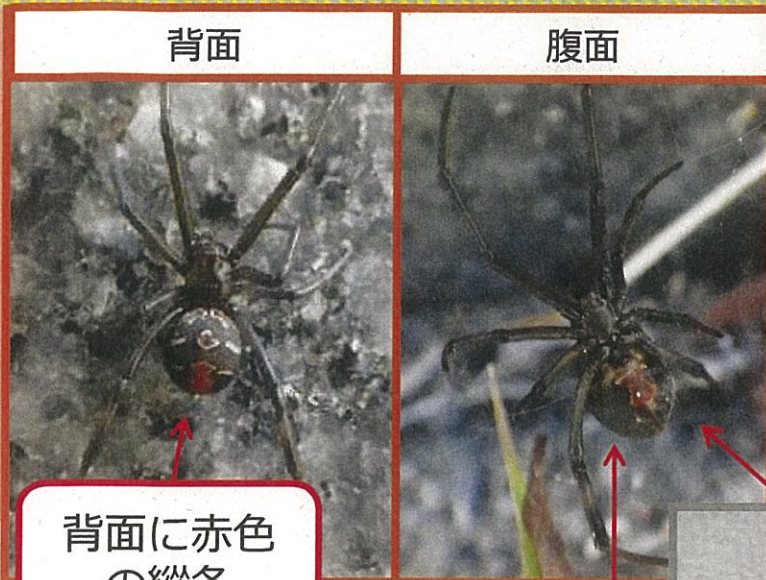
○野外で作業する場合は、軍手を着用する。

○駆除方法は、市販の家庭用殺虫剤(ピレスロイド系殺虫剤)を噴霧して駆除することができる。卵のうち(卵が入っている袋)は外皮に覆われているため、殺虫剤が効きにくいのでビニール袋に入れて踏みつぶす。

○咬まれた場合は、速やかに医療機関に相談すること。

○ハイイロゴケグモに係る相談等については、各保健所生活環境班または環境保全班へ相談下さい。

# セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモ にご注意ください！



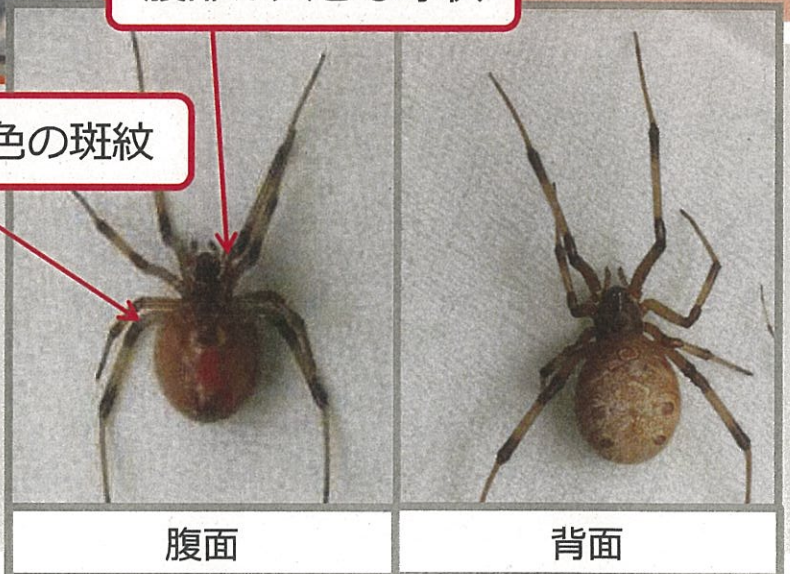
**和名** セアカゴケグモ  
**科名** ヒメグモ科 (Theridiidae)  
**学名** *Latrodectus hasseltii*  
**原産地** オーストラリア  
**特徴** 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。全体が光沢のある黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。  
 ※左写真の個体は未成熟であり、成熟すると白い斑紋は消えます

背面に赤色の縦条

腹部は大きな球状

腹面に赤色の斑紋

**和名** ハイイロゴケグモ  
**科名** ヒメグモ科 (Theridiidae)  
**学名** *Latrodectus geometricus*  
**原産地** 亜熱帯地方  
**特徴** 成熟した雌の体長は、約0.7~1cm。ハイイロゴケグモの色彩はさまざまで、腹部背面が真黒のもの、茶色や灰色を基調として斑紋を有するものなど変異が多い。



腹面

背面

## ゴケグモの被害について

※毒をもっているのは雌だけです

### 咬まれたときの症状

- 局所の疼痛、熱感、痒感、紅斑、硬結、区域リンパ節の腫張が生じます
- 通常は数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります
- 重症例では、進行性の筋肉麻痺が生じます

### 咬まれた場合は

- 咬まれたときは、すみやかに医療機関にご相談ください
- 重症化した場合は抗毒素血清による治療が必要です
- 咬んだクモの種類がわかるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください

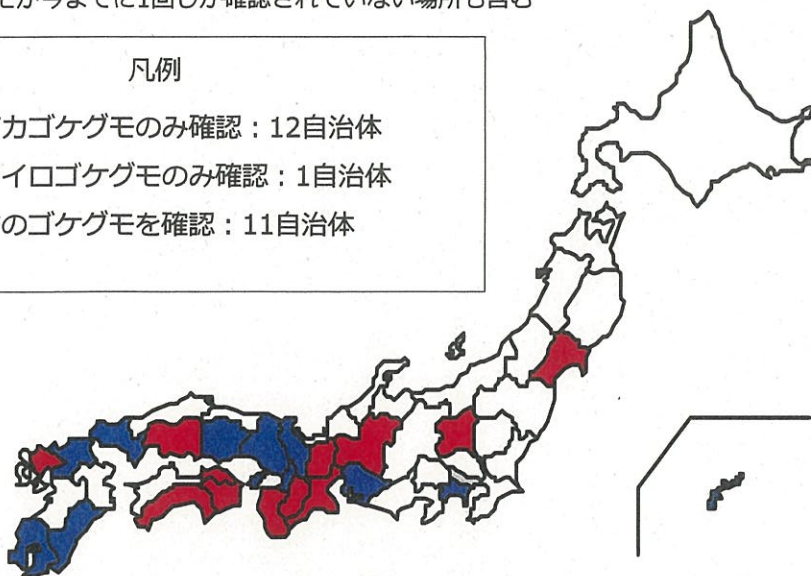
### 咬傷例

- ゴケグモは攻撃性はありませんが、触ると咬まれることがあります
- 日本での咬傷例は主に6~10月に報告されています
- 日本ではセアカゴケグモの咬傷例が報告されており、ほとんどが軽症ですが、重症化することもあります
- 日本ではセアカゴケグモの毒で死亡した例はありませんが、オーストラリアでは死者が出ています (血清開発後の死亡例はありません)

# 今までにセアカゴケグモ・ハイイロゴケグモが 確認された都道府県（全24自治体）（2012年10月現在）

※ゴケグモが今までに1回しか確認されていない場所も含む

凡例	
■	セアカゴケグモのみ確認：12自治体
■	ハイイロゴケグモのみ確認：1自治体
■	両方のゴケグモを確認：11自治体



セアカゴケグモとハイイロゴケグモは、港湾地域又はそれに隣接する地域で多く発見されており、コンテナ等に付着して侵入してきた可能性があります。

国内では、貨物やコンテナ、建築資材、自動車等に営巣したものが人為によって運ばれた結果、生息域が広範囲に拡大されたものと考えられています。

## ゴケグモの生息する場所

- 日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のあらゆる窪みや穴、裏側、隙間に営巣します  
例)プランターの底、室外機の裏、庭に置いた靴の中など
- 屋外に置かれていた傘、衣服、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります
- ゴケグモに咬まれないように屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください

## ゴケグモを拡散しないために・・・

ゴケグモの国内での分布域を拡げないために、ゴケグモが生息している地域からの引っ越しや貨物の運送のときなど、荷物や車に付着して運ばないようにご注意ください

## ゴケグモを発見した場合

- ゴケグモを発見した場合は、お住まいの自治体にご連絡ください
- ゴケグモを見つけても、素手で捕まえたり、さわらないように気をつけてください
- 駆除するには家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、熱湯をかける、靴で踏みつぶす等の物理的な方法でも構いません
- 一匹見つかれば周囲にも潜んでいる可能性があるため、よく確認するなど注意してください

## セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモは外来生物法に基づく “特定外来生物”に指定されています

外来生物による生態系、人の生命・身体、農林水産業への被害の防止を目的に、外来生物法では特定外来生物を指定し、これらの生きた個体を持ち運んだり、飼育したりすることを禁止しています。セアカゴケグモ・ハイイロゴケグモについては人の生命又は身体に関わる被害があることから、特定外来生物に指定されています。

さらに外来生物法について詳しく知りたい方は下記URLをご覧ください  
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>

製作：環境省外来生物対策室